

2019年度モニタリング環境調査分析機関報告データ

水質

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:水質(pg/L)
 地方公共団体:秋田県
 調査地点:八郎湖

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[1] 総PCB	45	※4.7	※12
[1-1] モノクロロビフェニル類	0.4	0.1	0.3
[1-2] ジクロロビフェニル類	5	1	2
[1-3] トリクロロビフェニル類	nd	2	5
[1-4] テトラクロロビフェニル類	8.1	0.2	0.6
[1-4-1] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4'-テトラクロロビフェニル (#77)	tr(0.2)	0.2	0.6
[1-4-2] コプラナーPCBのうち 3,4,4',5'-テトラクロロビフェニル (#81)	nd	0.2	0.6
[1-5] ペンタクロロビフェニル類	19	0.3	0.7
[1-5-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4'-ペンタクロロビフェニル (#105)	1.1	0.3	0.7
[1-5-2] コプラナーPCBのうち 2,3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#114)	nd	0.3	0.7
[1-5-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#118)	3.2	0.3	0.7
[1-5-4] コプラナーPCBのうち 2',3,4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#123)	nd	0.3	0.7
[1-5-5] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5'-ペンタクロロビフェニル (#126)	nd	0.3	0.7
[1-6] ヘキサクロロビフェニル類	9.4	0.9	2.4
[1-6-1] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (#156)	nd	0.9	2.4
[1-6-2] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5'-ヘキサクロロビフェニル (#157)	nd	0.9	2.4
[1-6-3] コプラナーPCBのうち 2,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#167)	nd	0.9	2.4
[1-6-4] コプラナーPCBのうち 3,3',4,4',5,5'-ヘキサクロロビフェニル (#169)	nd	0.9	2.4
[1-7] ヘプタクロロビフェニル類	2.4	0.2	0.6
[1-7-1] コプラナーPCBのうち 2,2',3,3',4,4',5'-ヘプタクロロビフェニル (#170)	tr(0.5)	0.2	0.6
[1-7-2] コプラナーPCBのうち 2,2',3,4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#180)	0.9	0.2	0.6
[1-7-3] コプラナーPCBのうち 2,3,3',4,4',5,5'-ヘプタクロロビフェニル (#189)	nd	0.2	0.6
[1-8] オクタクロロビフェニル類	0.5	0.1	0.2
[1-9] ノナクロロビフェニル類	tr(0.1)	0.1	0.4
[1-10] デカクロロビフェニル	0.5	0.1	0.3
[2] HCB (ヘキサクロロベンゼン)	11	3	8
[11] HCH類	530	※5	※12
[11-1] α-HCH	83	2	4
[11-2] β-HCH	400	1	3
[11-3] γ-HCH (別名:リンデン)	18	2	4
[11-4] δ-HCH	28	0.4	1.0
[14] ポリブロモジフェニルエーテル類 (臭素数が4から10までのもの)	48	※19	※48
[14-1] テトラブロモジフェニルエーテル類	tr(4)	4	11
[14-1-1] 2,2',4,4'-テトラブロモジフェニルエーテル (#47)	tr(4)	4	11
[14-2] ペンタブロモジフェニルエーテル類	nd	2	6
[14-2-1] 2,2',4,4',5'-ペンタブロモジフェニルエーテル (#99)	nd	2	6
[14-3] ヘキサブロモジフェニルエーテル類	nd	1	2
[14-3-1] 2,2',4,4',5,5'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#153)	nd	1	2
[14-3-2] 2,2',4,4',5,6'-ヘキサブロモジフェニルエーテル (#154)	nd	1	2
[14-4] ヘプタブロモジフェニルエーテル類	nd	2	4
[14-4-1] 2,2',3,3',4,5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#175) 及び[14-4-2] 2,2',3,4,4',5',6'-ヘプタブロモジフェニルエーテル (#183)	nd	2	4
[14-5] オクタブロモジフェニルエーテル類	nd	1	3
[14-6] ノナブロモジフェニルエーテル類	nd	3	8
[14-7] デカブロモジフェニルエーテル	44	6	14
[15] ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS)	470	30	80
[16] ペルフルオロオクタタン酸 (PFOA)	2,000	40	90
[17] ペンタクロロベンゼン	7	2	6

(注1) 「nd」は不検出を意味する。
 (注2) 「tr」は検出下限以上、定量下限未満を意味する。
 (注3) ※:定量[検出]下限値は各同族体等の定量[検出]下限値の合計値とした。

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:モニタリング調査
 調査媒体:水質(pg/L)
 地方公共団体:秋田県
 調査地点:八郎湖

調査対象物質	測定値	検出下限値	定量下限値
[20] 総ポリ塩化ナフタレン	nd	※7.5	※24
[20-1] モノ塩化ナフタレン類	tr(1)	1	3
[20-2] ジ塩化ナフタレン類	tr(2)	1	4
[20-3] トリ塩化ナフタレン類	4	1	4
[20-4] テトラ塩化ナフタレン類	nd	2	6
[20-5] ペンタ塩化ナフタレン類	nd	0.6	1.6
[20-6] ヘキサ塩化ナフタレン類	nd	0.8	2.1
[20-7] ヘプタ塩化ナフタレン類	nd	0.6	1.5
[20-8] オクタ塩化ナフタレン	nd	0.5	1.4
[22] ペンタクロロフェノール並びにその塩及びエステル類	tr(40)	※30	※90
[22-1] ペンタクロロフェノール	tr(40)	20	60
[22-2] ペンタクロロアニソール	nd	10	30
[23] 短鎖塩素化パラフィン類	nd	※1,600	※4,300
[23-1] 塩素化デカン類	nd	200	600
[23-2] 塩素化ウンデカン類	nd	500	1,400
[23-3] 塩素化ドデカン類	nd	400	1,000
[23-4] 塩素化トリデカン類	nd	500	1,300
[24] ジコホル	nd	8	13
[25] ペルフルオロヘキサンスルホン酸 (PFHxS)	100	30	60

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) 「tr」は検出下限以上、定量下限未満を意味する。

(注3) ※: 定量[検出]下限値は各同族体等の定量[検出]下限値の合計値とした。